

病院名 丹後中央病院

所在地 京都府京丹後市峰山町杉谷 158-1

キーワード： 脊椎 人工関節 手外科 マイクロサージャリー リハビリテーション

2次救急病院

スタッフ

常勤 西島 直城 (S 45 卒)

中村 亮太 (H30 卒)

高橋 基 (H31 卒)

非常勤 福本 彰 (H1 卒)

淘江 宏文 (19 卒)

その他非常勤医師

専門医、指導医の有無

日本整形外科学会専門医・指導医、

日本手外科学会専門医・指導医

日本脊椎脊髄病学会専門医・指導医、

日本リハビリテーション医学会専門医・指導医

日本リウマチ学会専門医

施設認定

日本整形外科学会認定研修施設、

日本手外科学会専門認定研修施設、

日本リウマチ学会教育施設

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

手術内容

2023 年手術件数 約 680 件

6 割程度が外傷(切断指含む)、人工関節(年間 100 件程度)、脊椎(年間 80 件程度)、関節鏡手術、手外科手術など

特徴：

京都北部にある病院で、京都市内から京都縦貫道を使用して 2 時間程度の位置にあります。

都市部から離れた地域ですが、積極的に整形外科診療をしているため、京都府だけでなく兵庫県北部などの患者さんが来られます。

地域唯一の回復期リハビリテーション病棟(約 100 床)があるため、同一施設で継続した治療が可能です。手術に関する設備はほぼ揃っています(4K 関節鏡システム、手術用顕微鏡、C-arm、脊椎用手術台、創外固定など)。

職員のフットワークは軽く、コメディカルスタッフの協力体制が充実しており、医療に集中して勤務できます。また、自己研磨含め学会出張やセミナー出席も病院業務への影響がない限りは制限ありません。住まいは、病院の近くに住みやすい官舎があります。

総合的な整形外科医としても活躍できますし、各学会認定の研修施設であり、サブスペシャリティを高める経験が積めます。